

『コロナ禍』での活動



榴岡地区社会福祉協議会
会長 星 洋子

日頃、地域の皆様には、榴岡地区社会福祉協議会の活動に対しご協力ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により、活動を中止せざるを得ない事もありました。しかし、昨年度サロンを3ヶ月お休みしたことにより、高齢者が家から出かけることもなく、筋力の低下等を心配しました。その事から「お茶っこサロン」は会場まで歩いてくることも「運動」と考え、駅東交流センター駐車場で『青空サロン』を4月と9月に開催しました。ほんのひと時でも顔なじみの方とお会いし「また来月ね」と笑顔で三々五々家路に向かわれました。

コロナも少し落ち着いて11月には、赤い羽根共同募金会の助成金を頂き、榴岡明寿会様との共催でフラワールーゼメントを開催しました。予想以上の申し込みがあり、皆さんがイベントを心待ちにしている事を感じました。

年が明け、変異株オミクロンの感染者が急増しています。仙台市の感染症対策のガイドラインに従いながら、サロンや健康体操を続けたいと思います。

残念なのは、榴岡小学校二年生との「ふれあいいきいきサロン」を2年間開催できなかった事です。必ず復活できる事を楽しみに待ちたいと思います。

この様な活動ができるのも、町内会の皆様からの会費納入が原資となつています。一世帯300円が基本となり、1,000円以上は特別賛助会員となります。福祉活動を進めるために、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

移動研修



▲ かつての荒浜に思いを馳せる

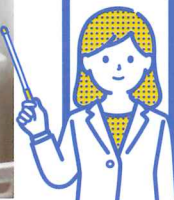


▲ 語り部のお話に聞き入る



令和3年は、東日本大震災から10年という大きな節目である事から、震災遺構である仙台市立荒浜小学校への移動研修会を実施しました。児童や教職員、地域住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。津波による犠牲を出さないように、その校舎を震災遺構として公開し、津波の脅威や教訓を伝えています。校舎の被害状況の写真・映像、さらに語り部さんの説明から防災・減災の意識を高めさせられると共に、伝承していく事の大切さを実感して帰路につきました。(嶺岸)

福祉委員研修会



地域福祉活動推進のため、令和3年度～令和8年度の活動目標や方向性について記載した活動・行動計画「せんだいaiプラン」が策定されました。福岡地区では福祉委員対象の研修会を開催し、沢山の『ai(愛・合い・会い・あい)』に繋がる事を学びました。

「誰もが互いに尊重しあう地域をみんなで作る!!」この基本理念を活かせるよう、地域の中でお互いを気に掛け合い、つながりの「輪」を支えて行けるような活動をしていきたいと思いました。(嶺岸)



▲時には真剣に!



▲最高傑作出来上がり



▲自分の世界に集中!!



赤い羽根
共同募金助成事業
(福岡明寿会共済)

フラワーアレンジメント

Flower Arrangement



「福岡地区社会福祉協議会」との共催事業として参画した、「お茶っこサロン」も3年が経ちました。心から感謝を申し上げます。さて、コロナ禍の中で実施した「フラワーアレンジメント」講習会でしたが、地域の方々・明寿会のメンバー総勢41名が参加しました。

講師は地元の高橋生花店の高橋先生です。まずは、赤・黄・青系統の花材選びから、そして説明に入るや否や、手慣れた手さばきで生け始めました。何と個性的!!

出来上がったフラワーアレンジメントに大満足で笑顔いっぱい、お花は心を和ませますね。

(福岡明寿会 会長 野田 幸代)

お茶っこサロン



開催日時

榴ヶ岡市民センター 駅東交流センター
偶数月 第2金曜日 奇数月 第2金曜日

2会場共 時間 10時～12時



▲歌に合わせて軽い運動



▲「劇団ふたり」のお話心にしました



▲つかの間の「青空サロン」



▲名残惜しいけどまたね!



▲宮城野カルタを楽しみました

「お茶っこサロン」に参加して

窓

嶽間澤 忠良

パソコンを開くと窓が現れますが、窓は私にとって行事一つ一つを意味します。窓が沢山あると参加する催しが多いことになります。
お茶っこサロンもその一つです。毎回参加しますが、楽しく笑いが絶えません。外出する窓を沢山持ち老化防止に努めたいものです。そういえば今年の歌会始の題も窓でしたね。

あの夏の半紙を貼った硝子窓
ふと思ひ出す幾年経つと



▲手編みのセーターがお似合い



▲心ばかり

感染防止対策を万全にして、12月14日榴岡地区日赤奉仕団と、社会福祉協議会共催の「ふれあい訪問」を実施しました。各地域の委員が、対象の594名の皆様に心ばかりのお菓子をお渡しし、近況や要望等を伺いました。にこやかな笑顔で迎えて頂き、打ち解けてお話し下さり、気を引き締めるも温かい気持ちになりました。改めて「ふれあい」の大切さを思い、今後の活動の糧にしていきたいと思えます。(吉田)



▲笑顔で受け取って頂きました

ふれあい訪問

健康体操教室



▲ 転ばぬ先の“ストレッチ”



▲ 杜の都のおトク体操



▲ タオルを使ってわき伸ばし



▲ 呼吸が楽になる胸ひらき

社協主催
「げんき榴岡」

- 駅東交流センター
- 毎月 第3金曜日 10時～

自主活動
「いきいき宮城野」

- 宮城野町民館
- 毎月 第2木曜日 10時～

※ 参加希望の方は直接会場へお越し下さい。(参加費100円)

自主活動
「サロンあけぼの」

- 小田原二十人町内会集会所
- 毎月 第3火曜日 13時半～

開催日時の変更される場合があります。

令和4年4月～

自主活動
「つつじクラブ」

- 生涯学習センタートレーニング室
- 毎月 第4火曜日 10時～

編集後記

「社協だより」は第20号の節目を刻む事となりました。令和3年は長引くコロナ禍で活動も儘ならず、前年に続き制限のある中での活動でしたが、喜んでご参加下さった皆様に心より感謝申し上げます。そんな皆様のお姿をカメラに収め、こうして第20号を発行できます事は望外の喜びです。これからも榴岡社協の活動に、ご協力・ご支援を賜りますよう、委員一同更に紙面の充実に取り組んでまいります。(齋藤)

編集委員

星洋子・田中朋子・吉田多恵・末永榮六
嶺岸美恵子・山口博子・齋藤まゆみ

社会福祉協議会
会費高額納入者
(五千円以上)

ご協力ありがとうございます。
多くの皆様のご支援に
感謝申し上げます。

■ 仙台銀行様
■ トータルサービス(株)様
■ 福司 憲道様
■ 関口 秀和様
■ 澁谷 宗勝様
■ (株)ユアテック様